

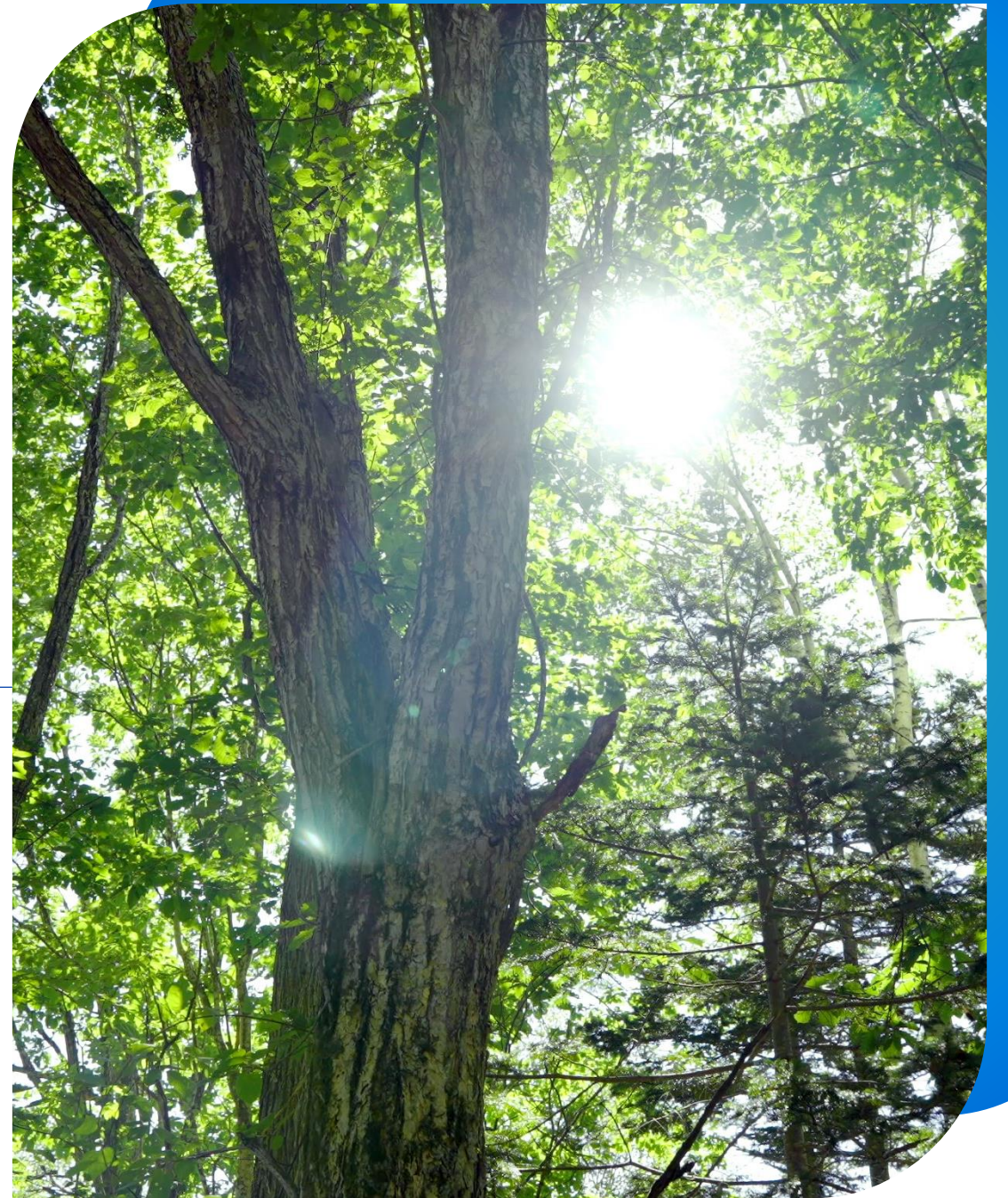


# 2025年度 決算説明資料

2026.05.15

日本製紙株式会社

証券コード：3863



# エグゼクティブ・サマリー

## 2025年度 決算

- 生活関連事業の投資効果発現による販売数量増加によって前年比増収。
- 海外事業の収益改善により、営業利益は前年比で増益。

## 2026年度 業績予想

- 不透明感の続く中東情勢に対し、原燃料価格の高止まり、各種製品の価格修正などを想定。70億円の減益影響を織り込む。

## 中期経営計画2030 骨子

- 3つの基本戦略を着実に実行し、資本効率の向上を実現。
- 資本効率の向上と持続的な成長を両立させ、PBRの向上を目指す。

\* 自己資本ベース

売上高	営業利益
11,926億円 〔前年同期比 +0.9%〕	252億円 〔前年同期比 +27.9%〕

売上高	営業利益
12,200億円 〔前年同期比 +2.3%〕	250億円 〔前年同期比 ▲0.8%〕

基本戦略	B/Sの最適化	構造改革の断行	収益性の向上
目標	ROIC 4%以上	ROE 8%以上	営業利益 600億円以上
	ネットD/Eレシオ*	1.0倍以下	

## 連結損益概要

- 売上高は、紙・板紙事業で減少したものの、生活関連事業の売上高拡大により、前年同期比で増収
- 営業利益は、Opalの収益改善や、前年度に大規模メンテナンスを行った日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)が平常操業に戻ったことで、前年同期比で増益
- 特別利益は、政策保有株式などの有価証券売却益を計上

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,824	11,926	102	0.9%
営業利益	197	252	55	27.9%
経常利益	155	231	76	49.0%
当期純利益*	45	117	72	158.7%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## セグメント別概要

- 生活関連事業が海外事業を中心に大幅な増益

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度 実績	2025年度 実績	前年 同期比	2024年度 実績	2025年度 実績	前年 同期比
紙・板紙	5,659	5,579	▲80	83	6	▲77
生活関連	4,579	4,820	▲241	▲61	72	▲133
エネルギー	483	432	▲51	36	33	▲3
木材・建材・土木建設関連	788	765	▲23	96	100	▲4
その他	315	330	▲15	43	41	▲2
合計	11,824	11,926	▲102	197	252	▲55
国内	9,139	9,187	▲48	316	287	▲29
海外	2,685	2,739	▲54	▲119	▲35	▲84

## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業	生活関連事業
数量・売価	51	0 -	51 -
原燃料価格	32	12 チップ ▲16、古紙 ▲19、パルプ 2、 重油 ▲4、石炭 50、LNG 6、薬品他 ▲7 (価格影響 6、為替影響 6)	20 チップ ▲1、パルプ 6、石炭 2、薬品他 13
コストダウン等	▲59	▲41 原価改善 ▲10、白老・八代停機影響 5、 労務費 ▲17、物流費 ▲19	▲18 原価改善 1、労務費 ▲9、物流費 ▲10
その他	32	▲48 海外事業 ▲7 減価償却 7、退職給付費用 ▲14、 修繕費 ▲12、受払影響ほか ▲22	80 海外事業 91 (Opal 46、NDP 45、TSP 0) 減価償却 4、受払影響ほか ▲15
合計	56	▲77 国内 ▲70、海外 ▲7	133 国内 42、海外 91
その他事業	▲1	エネルギー ▲3、木建土 4、その他 ▲2	
営業利益	55		

## 紙・板紙事業

## 国内

- 洋紙の輸出市況の悪化や、板紙の国内需要が低調に推移し、前年同期比で減収。
- 石炭等燃料価格は安定して推移したが、労務費・物流費の上昇により、前年同期比で減益。

## 海外

- 十條サーマル(JTOy)は、欧州市場での感熱紙需要の低迷が続き、前年同期比で減益。

(億円)

## 売上高

2024年度  
実績

5,659

2025年度  
実績

5,579

前年同期比

▲80

## 営業利益

2024年度  
実績

83

2025年度  
実績

6

前年同期比

▲77

# 生活関連事業

## 国内

- 家庭紙の投資効果の拡大などにより販売数量が増加。
- 労務費や物流費の上昇があったものの、価格修正効果の発現などにより、堅調に推移。

## 海外

- Opalは、メアリーバール工場の原価改善(原単位改善、操業効率改善など)により赤字縮小。
- NDPは、前期の大規模メンテナンスの影響が解消され、販売数量が増加したことで大幅改善。

(億円)

	売上高			営業利益		
	2024年度実績	2025年度実績	前年同期比	2024年度実績	2025年度実績	前年同期比
国内	2,242	2,385	143	93	135	42
海外	2,337	2,435	98	▲154	▲63	91
合計	4,579	4,820	241	▲61	72	133

### 国内 営業利益

前年同期比	42
パッケージング加工	14
ケミカル	7
家庭紙・ヘルスケア	21

### 海外 営業利益

前年同期比	91	数量・売価	1
Opal	46	原燃料価格	▲19
NDP	45	原価改善	42
TSP	0	のれん	12
		その他	10
		数量・売価	39
		原燃料価格	▲13
		固定費	8
		その他	11

# エネルギー事業／木材・建材・土木建設関連事業

## エネルギー事業

- 販売電力価格の低下によって前年同期比で減収減益。

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度実績	2025年度実績	前年同期比	2024年度実績	2025年度実績	前年同期比
483	432	▲51	36	33	▲3

## 木材・建材・土木建設関連事業

- 国内のバイオマス燃料の需要増加などにより増益。

(億円)

売上高			営業利益		
2024年度実績	2025年度実績	前年同期比	2024年度実績	2025年度実績	前年同期比
788	765	▲23	96	100	4

# 連結貸借対照表

- 為替影響などもあり、棚卸資産や有形・無形固定資産が増加。
- 中期経営計画2025目標である、純有利子負債7,100億円以下、ネットD/Eレシオ1.7倍台を達成。

	2025年3月末	2026年3月末	前期末増減
			(億円)
<b>資産の部合計</b>	17,033	17,384	351
現預金	1,859	2,074	215
棚卸資産	2,300	2,372	72
その他流動資産	2,222	2,203	▲ 19
有形・無形固定資産	7,971	8,005	34
投資その他の資産	2,678	2,728	50
<b>負債の部合計</b>	11,928	11,979	51
有利子負債	8,808	8,825	17
その他負債	3,120	3,154	34
<b>純資産の部合計</b>	5,104	5,405	301
うち株主資本	3,309	3,408	99
<b>負債および純資産合計</b>	17,033	17,384	351
<b>純有利子負債</b>	6,949	6,752	▲ 197
<b>ネットD/Eレシオ(株主資本ベース)*</b>	1.84	1.74	▲ 0.10

\* ネットD/Eレシオ(株主資本ベース) = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)  
 資本性負債: ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額(調達額の50%)

## 連結損益概要

- 2025年度に実施した各種製品の価格修正効果が通年で寄与。
- 不透明感が続く中東情勢は、年度を通じて収益に影響を及ぼす前提。原燃料価格の高止まりに対し、各種製品のさらなる価格修正などを想定するが、70億円の減益影響を織り込む。

(億円)

	2025年度 実績	2026年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	11,926	12,200	274	2.3%
営業利益	252	250	▲2	▲0.8%
経常利益	231	180	▲51	▲22.1%
当期純利益*	117	100	▲17	▲14.8%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2025年度 実績	2026年度 予想	前年 同期比	2025年度 実績	2026年度 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,579	5,640	61	6	55	49
生活関連 (うち海外)	4,820	5,000	180	72 (▲63)	80 (▲60)	8 (3)
エネルギー	432	400	▲32	33	10	▲23
木材・建材・土木建設関連	765	830	65	100	75	▲25
その他	330	330	0	41	30	▲11
合計	11,926	12,200	274	252	250	▲2
国内	9,187	9,360	173	287	295	8
海外	2,739	2,840	101	▲35	▲45	▲10

## 主要な前提条件

### ■ 主要原材料価格、為替

	通期
為替(米ドル)	160円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+5.5億円/年
石炭	130ドル/t(豪州炭)
原油	100ドル/バレル(ドバイ)
古紙	足元の価格動向を勘案

## 増減要因内訳

(億円)

		紙・板紙事業	生活関連事業
数量・売価	378	258 -	120 -
原燃料価格	▲291	▲210 チップ ▲95、古紙 7、パルプ ▲4、 重油 ▲17、石炭 ▲32、LNG ▲16、 薬品他 ▲53 (価格影響 ▲154、為替影響 ▲56)	▲81 チップ ▲1、パルプ ▲3、石炭 ▲1、 LNG ▲16、薬品他 ▲60
コストダウン等	▲16	▲5 原価改善 33、白老・八代停機影響 7、 労務費 ▲21、物流費 ▲24	▲11 原価改善 6、労務費 ▲12、物流費 ▲5
その他	▲14	6 海外事業 12、減価償却 4、 退職給付費用 2、受払影響ほか ▲12	▲20 海外事業 3、受払影響ほか ▲23
合計	57	49 国内 37、海外 12	8 国内 5、 海外 3
その他事業	▲59	エネルギー ▲23、木建土 ▲25、その他 ▲11	<div data-bbox="1974 986 2448 1263" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           パッケージング加工 ▲19、 ケミカル 10、 家庭紙・ヘルスケア 14             Opal 21、NDP ▲11、 TSP 1、NPCE* ▲8         </div>
営業利益	▲2		

\* Nippon Paper Chemicals Europe



日本製紙株式会社

# 参考資料

---



# 主要指標

	年度	2021	2022	2023	2024	2025
売上高	億円	10,451	11,526	11,673	11,824	11,926
営業利益(損失)	億円	121	▲269	173	197	252
売上高営業利益率	%	1.2	▲2.3	1.5	1.7	2.1
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	億円	20	▲504	227	45	117
EBITDA*1	億円	815	428	848	907	920
ROE*2	%	0.5	▲12.3	5.3	1.0	2.4
純有利子負債	億円	7,613	7,801	7,235	6,949	6,752
ネットD/Eレシオ(株主資本ベース)*3	倍	1.89	2.25	1.95	1.84	1.74
一株当たり当期純利益(損失)	円	17.23	▲436.28	197.09	39.33	101.69
一株当たり配当金	円	40	0	10	10	15
正規従業員数	人	16,129	15,959	15,557	15,145	15,042

\*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 受取配当金 + 受取利息 + のれん償却

\*2 ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益(損失) / 株主資本およびその他の包括利益累計額の期首期末平均

\*3 ネットD/Eレシオ(株主資本ベース) = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債: ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額(調達額の50%)

# 洋紙・板紙販売数量

(千t)

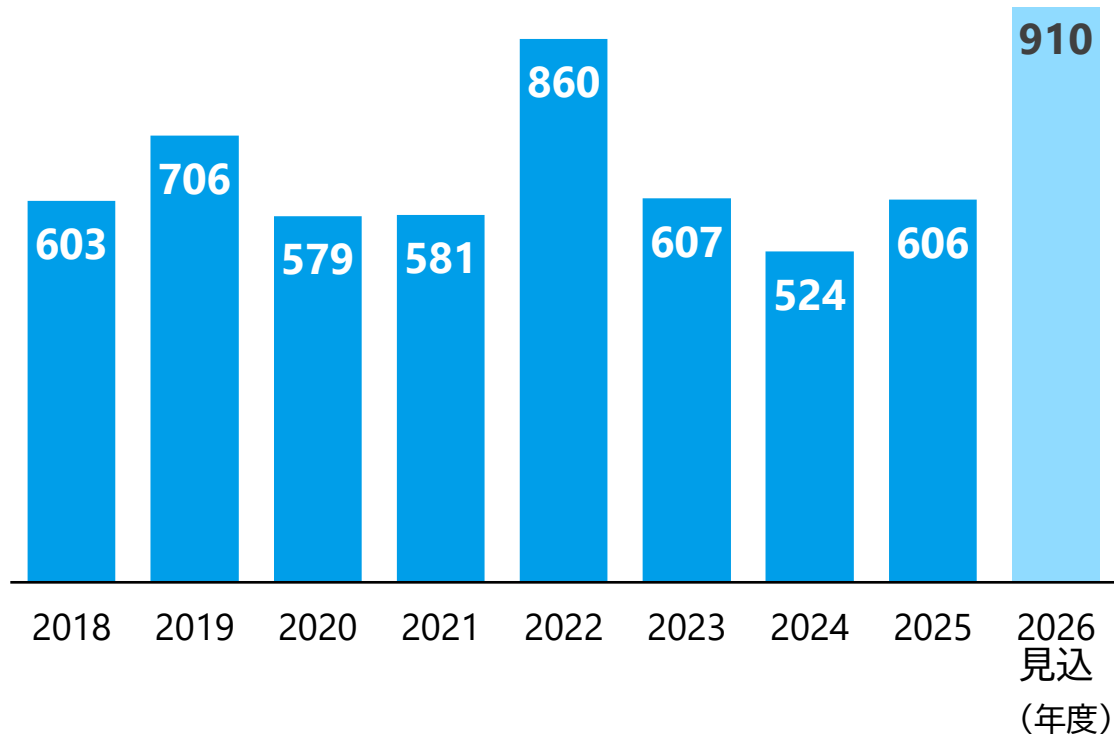
	2024年度	2025年度	対2024
新聞用紙	500	524	4.8%
印刷用紙	884	884	▲0.1%
情報用紙	361	349	▲3.4%
その他	301	308	2.3%
国内	2,047	2,065	0.9%
輸出	201	161	▲19.8%
洋紙 合計	2,248	2,226	▲1.0%
段ボール原紙	1,499	1,490	▲0.6%
紙器用板紙他	312	304	▲2.5%
国内	1,810	1,794	▲0.9%
輸出	116	120	3.3%
板紙 合計	1,926	1,914	▲0.7%
洋紙・板紙 合計	4,174	4,139	▲0.8%

\*日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計(衛生用紙除く)

# 設備投資額・減価償却費

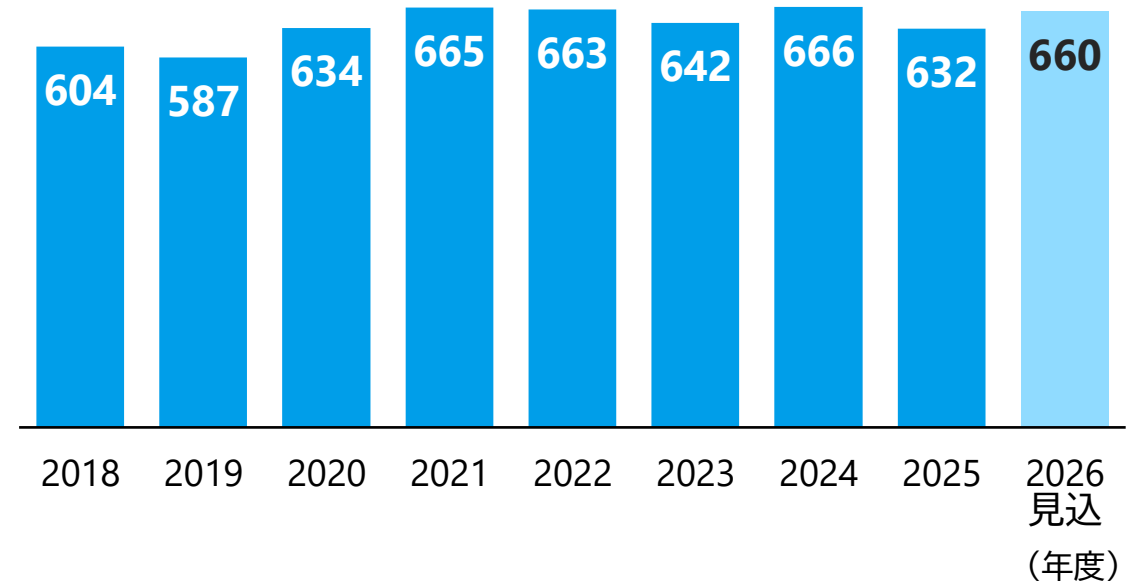
## 設備投資額\*

(億円)



## 減価償却費

(億円)



\* 建仮計上ベース

# セグメント別 売上高推移

(億円)

	2025年度				2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	通期
紙・板紙	1,382	1,360	1,445	1,392	2,742	2,837	5,579
生活関連	1,167	1,225	1,212	1,216	2,392	2,428	4,820
エネルギー	106	122	86	118	228	204	432
木材・建材・土木建設関連	196	183	178	208	379	386	765
その他	75	76	82	97	151	179	330
合計	2,926	2,966	3,003	3,031	5,892	6,034	11,926

# セグメント別 営業利益推移

(億円)

	2025年度				2025年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	通期
紙・板紙	▲9	▲6	13	8	▲15	21	6
生活関連	30	▲6	18	30	24	48	72
エネルギー	6	11	1	15	17	16	33
木材・建材・土木建設関連	30	23	16	31	53	47	100
その他	▲2	13	12	18	11	30	41
合計	55	35	60	102	90	162	252

# 連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	2024年度	2025年度	前年同期比
営業活動によるキャッシュフロー	727	749	22
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 334	▲ 435	▲ 101
フリーキャッシュフロー	393	314	▲ 79
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 182	▲ 78	104
その他	0	▲ 20	▲ 20
現金及び現金同等物の増減額	210	214	4
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	0	0	0
現金及び現金同等物の期末残高	1,859	2,074	215
減価償却費	666	632	▲ 34
設備投資額	524	606	82

# 業界統計

## 紙・板紙の国内出荷高と輸出入(2025年度)

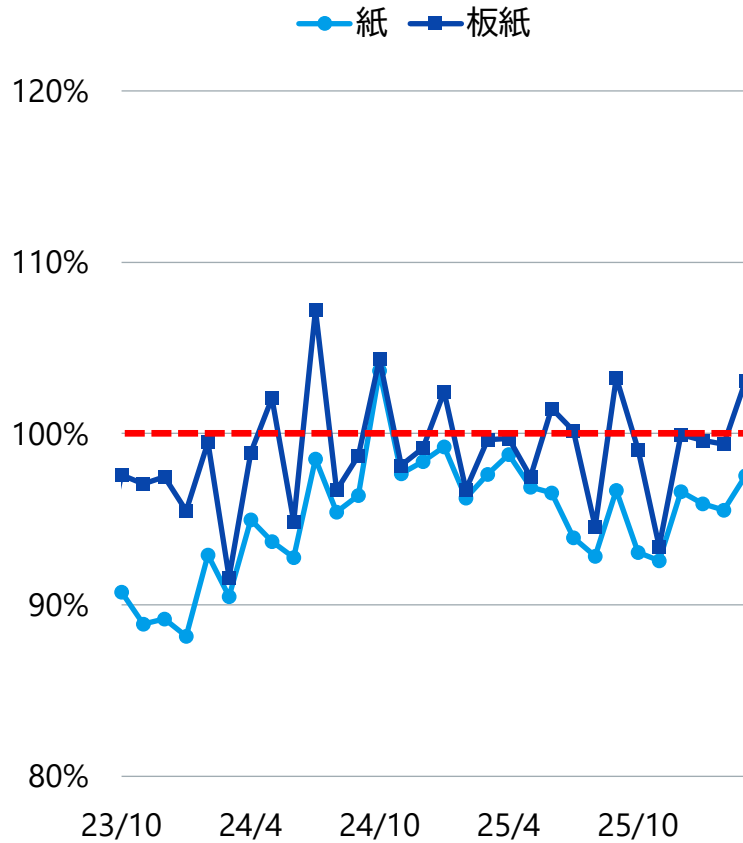
(数量:千t)

	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2024	数量	対2024	数量	対2024
新聞用紙	1,365	▲8.7%	0	—	0	▲66.3%
印刷・情報用紙	4,412	▲5.7%	521	▲13.8%	538	3.7%
塗工印刷用紙*	2,317	▲6.0%	388	▲12.5%	106	1.1%
非塗工印刷用紙	1,202	▲5.6%	88	▲17.5%	12	26.7%
情報用紙	893	▲5.4%	45	▲16.8%	419	3.9%
その他	3,013	▲0.2%	249	▲7.4%	43	8.8%
紙 合計	8,790	▲4.4%	770	▲11.8%	581	3.9%
段ボール原紙	8,589	▲0.6%	820	6.2%	26	9.7%
紙器用板紙他	1,990	▲1.1%	36	▲11.1%	195	▲5.2%
板紙 合計	10,580	▲0.7%	856	5.4%	221	▲3.7%
紙・板紙合計	19,370	▲2.4%	1,626	▲3.5%	802	1.7%

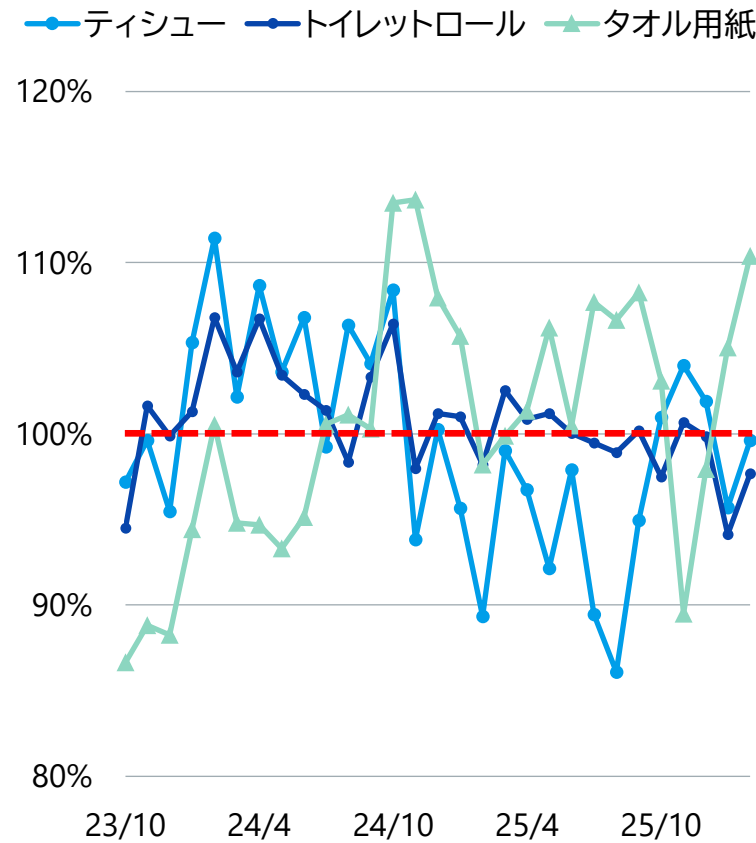
\* 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む  
出所:日本製紙連合会、財務省貿易統計

# 業界統計

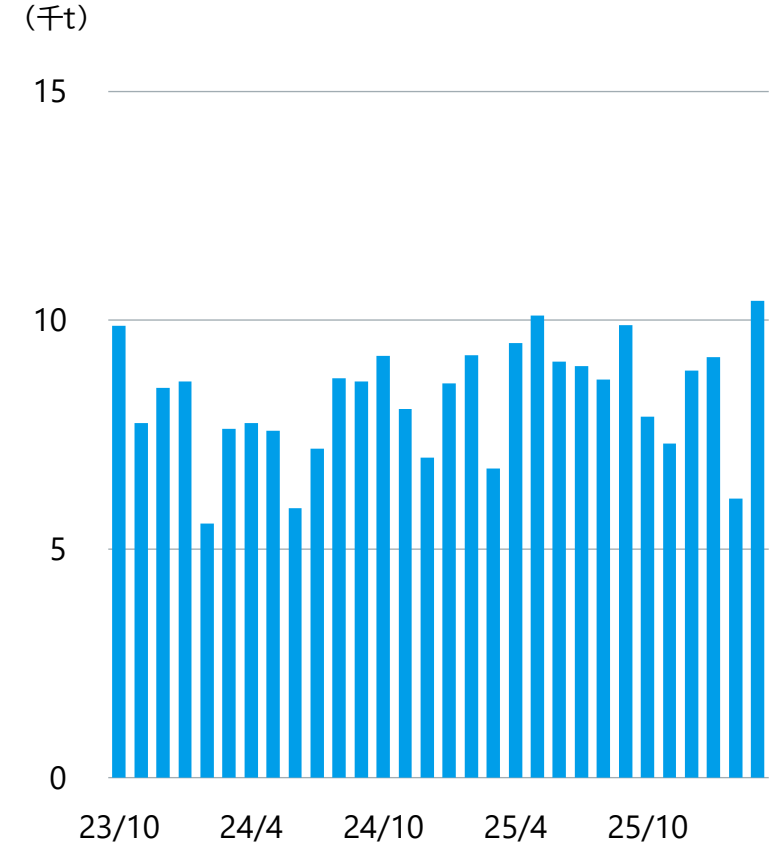
## メーカー国内出荷量(対前年)



## 衛生用紙生産高(対前年)



## 塗工紙輸入推移

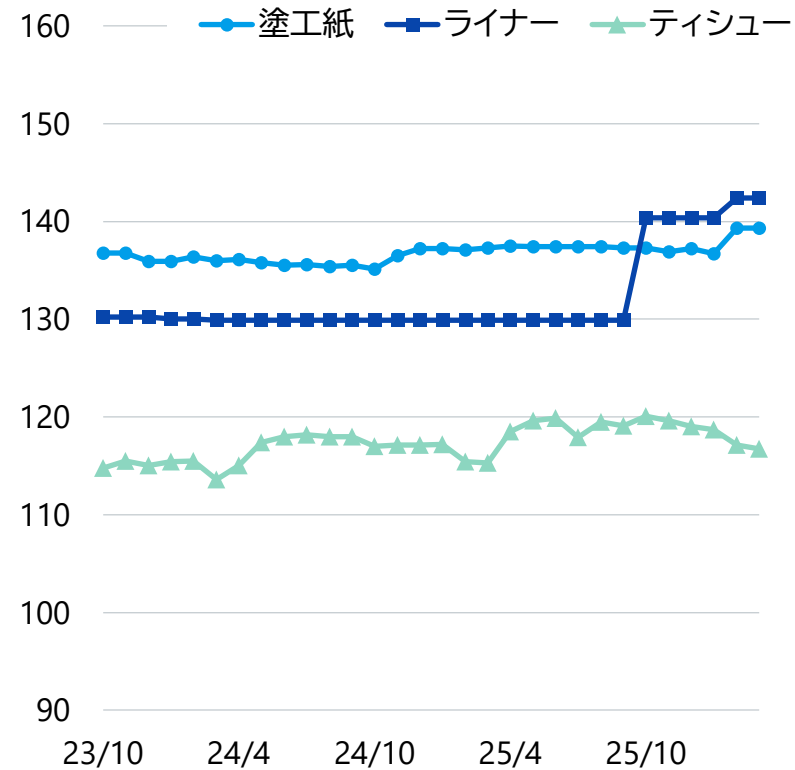


出所: 日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

# 業界統計

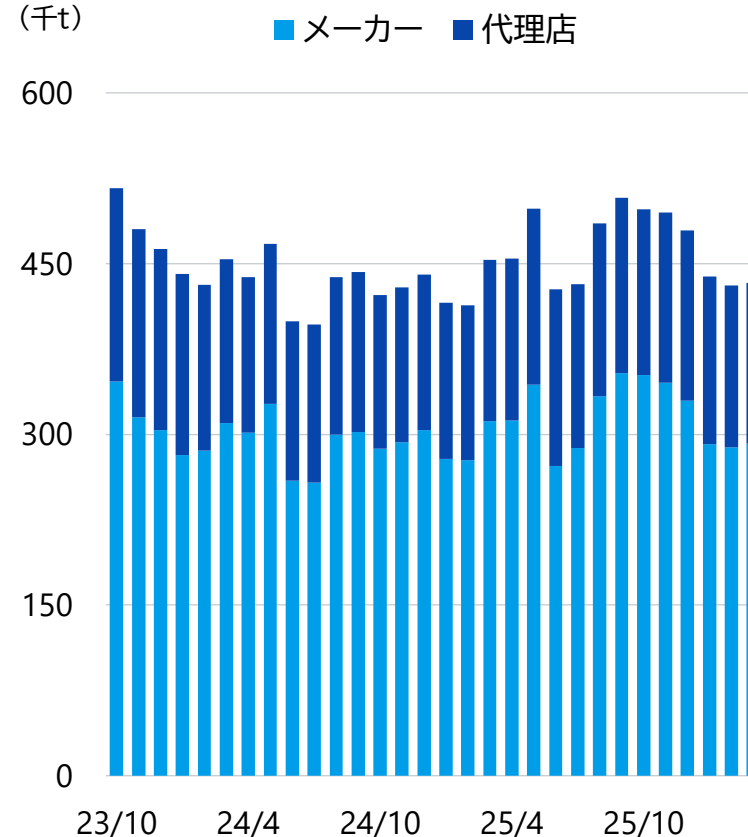
## 品種別価格動向

(2020年=100)



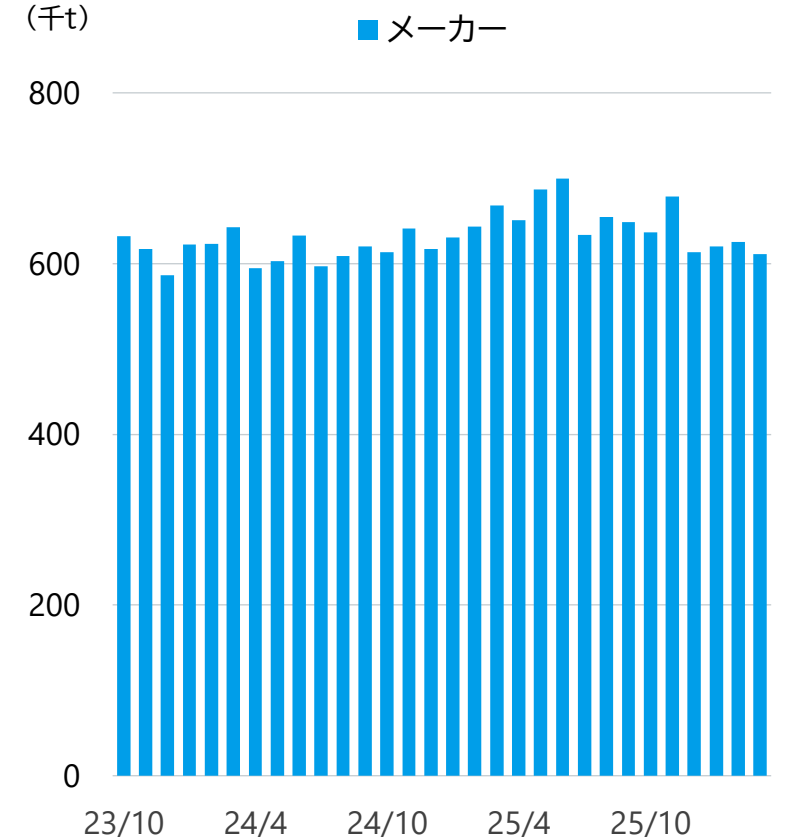
## 塗工紙在庫高推移

(千t)



## 段原紙在庫高推移

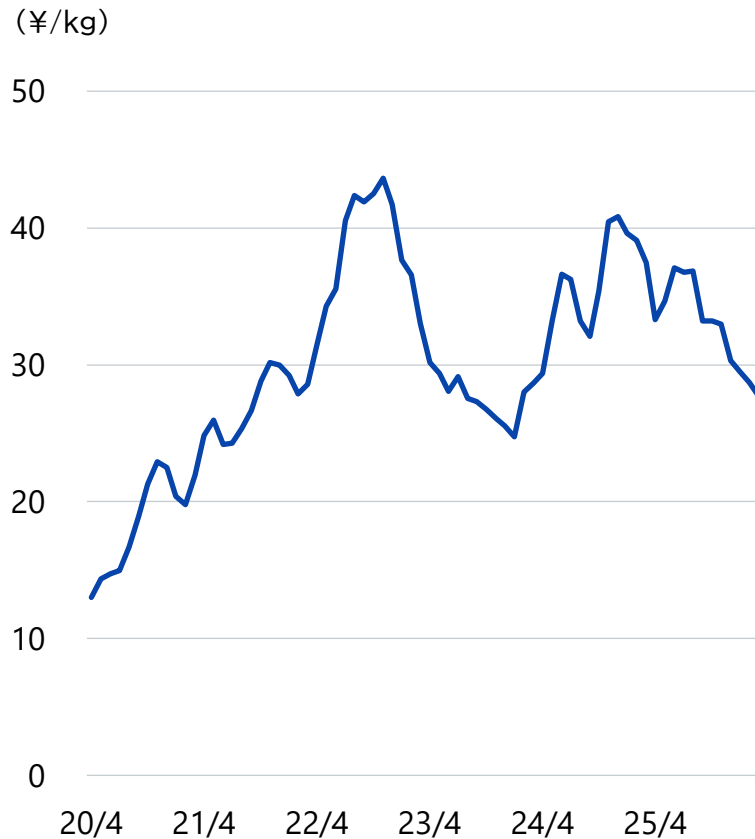
(千t)



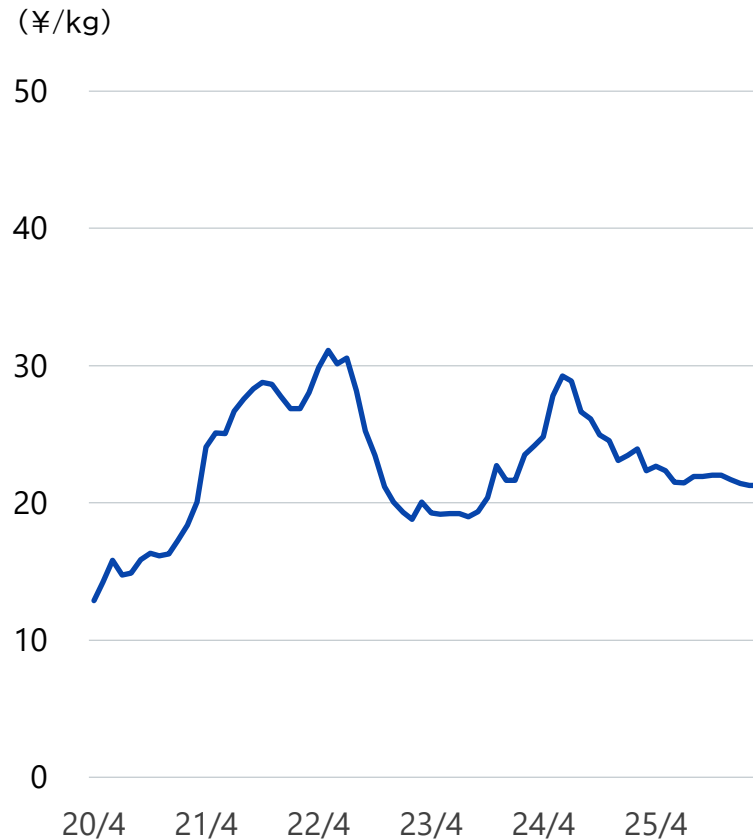
出所:日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

# 主要原燃料価格推移

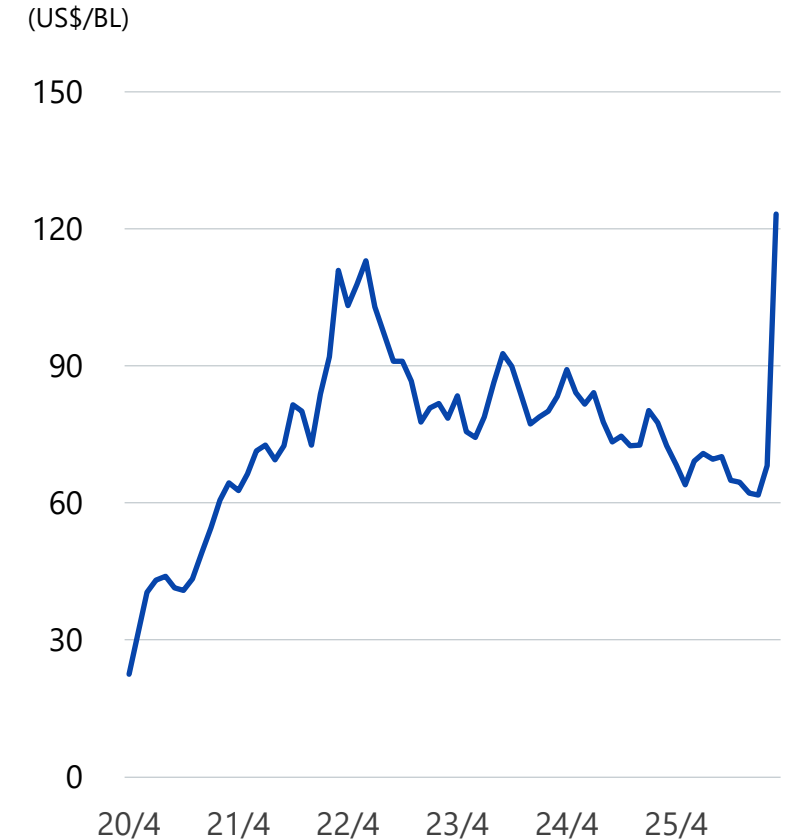
## 新聞古紙(輸出)



## 段ボール古紙(輸出)



## 原油



出所:古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞

# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## 〈注意事項〉

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。



日本製紙株式会社